

「共に生きる社会」の実現をめざして

IUHW

International University of Health and Welfare

vol. **74**
JULY 2008



第13回 運動会

平成20年度 入学式

式辞 谷修一 学長
新入学生概要
大学院 / 小田原キャンパス /
大川キャンパス



- 2 第13回運動会 大田原キャンパス
- 4 平成20年度入学式 大田原キャンパス
式辞 谷修一学長
新入学生概要
大学院／小田原キャンパス／大川キャンパス
- 7 平成19年度卒業生の進路／平成19年度国家試験受験結果／社会福祉士、介護福祉士制度改正／大学院臨床心理学専攻が第1種大学院に指定されました
- 8 小田原キャンパスレポート 第8回
- 9 大川キャンパスレポート 第13回

- 10 Topics & Columns
看護学科 結ネットワークキング計画第2報／国際医療福祉大学クリニック 言語聴覚センター「ミニセミナー」開催／第九回日本語聴覚学会開催／「国際視能矯正学会」に参加／本学学生3名が「第2回ESSC」優良賞を受賞／「元培科技大学国際会議」に本学学生2名が参加／初期臨床研修医のグループ合同オリエンテーション開催／「防犯意識高揚モデル大学」に指定／平成20年度奨学生決定／〈コラム〉私の主張 第9回「社会資源（介護保険制度）についての一考」（福岡リハビリテーション学部 作業療法学科 北島栄二准教授）／平成19年度学校法人国際医療福祉大学 決算報告／〈コラム〉私のおすすめ本 第9回「問題な日本語」（理学療法学科 下井俊典講師）

- 15 施設インフォメーション
〈国際医療福祉大学病院〉
臨床実習に向けて～実習生たちへのメッセージ～
〈三田病院〉
「東京都認定がん診療病院」に認定／院内研修会レポート
〈熱海病院〉
「看護の日のイベント」開催／「新型インフルエンザ講習会」開催
〈山王病院〉
新院長自己紹介／山王病院／リプロダクションセンター
〈化研病院〉「オープンホスピタル」
〈新宿けやき園〉6月1日開設
〈高木病院〉第2回大川市「未病と健康のつどい」
〈シーサイドもち〉「総合ケアセンターもち」が誕生！
- 19 医療福祉・マネジメント学科（仮称）が誕生します！
- 20 医療福祉チャンネル774／IUHW Hot News

IUHW Note

平成20年度の広報委員会の委員が決定しました。
【広報委員長】高橋泰（医療経営管理学科長）
【広報委員】重久加代子（看護学科）・川野英子（看護学科）・倉本アツヤ（理学療法学科）・藤田巨（作業療法学科）・谷合一（言語聴覚学科）・三柴恵美子（視機能療法学科）・菊地義信（放射線・情報科学科）・横塚記代（放射線・情報科学科）・丸木一成（医療経営管理学科）・小林雅彦（医療福祉学科）・角南明彦（薬学科）・齋藤智恵（総合教育センター語学教育部）・田中繁（大学院）・高石和秀（栃木・事務局）・高橋章子（栃木・事務局）・村山京三（小田原・広報担当）・原田ちはる（九州・広報担当）・金井雅之（東京事務所・広報室）



伝統と新作。個性あふれる『応援合戦』

毎年、学科対抗で行われる運動会の見どころのひとつは昼休みに行われる『応援合戦』。先生方の採点の結果、伝統のハッピーを身にまとい、息の合った「よさこいソーラン節」を披露した看護学科が第1位に輝いた。



第13回運動会

5月24日（土）、大田原本校にて第13回運動会が開催された。「午後から雨」というあいにくの予報のもと、空をにらみながらのスタートとなったが、学生たちの熱気が通じたのか、最後まで雨に邪魔されることなく、それぞれ練習の成果を発揮した。



見せたエネルギー、団結心！ みんなの本気が伝わってきました



写真は写真部の協力をいただきました

■ 競技プログラム

1. バットdeグルグル
2. 栄光の架け橋
3. 私の想いを受けとめて
4. 俺について来い!!!
5. 美女と野獣
- 〈応援合戦〉
6. とべとべ!! ☆3分間ジャンピング
7. 綱引きダッシュ!!
8. 大逆転!男祭り(汗)



■ 今年の結果

- 1位 理学療法学科
- 2位 作業療法学科・薬学科
- 4位 看護学科
- 5位 放射線・情報科学科
- 6位 医療経営管理学科
- 7位 言語聴覚学科
- 8位 医療福祉学科
- 9位 視機能療法学科



平成二〇年度入学式

大田原本校



Entrance ceremony in Ohtawara 2008>>>>>



四月四日（金）、本校那須アスリーナにおいて、「平成二〇年度学部入学式並びに大学院入学式」が行なわれた。桜の蕾がほころぶ晴天のもと、式の開始を飾るコーラス部による校歌「未来への扉」の斉唱は、新入生たちの心にどのよう響いたのでしょうか。

式次第

- 一 校歌斉唱
- 一 式辞
- ・ 学長
- ・ 大学院長
- 一 来賓祝辞
- ・ 大田原市長 千保一夫様（代理）
- ・ 大田原市副市長 藤田宏和様
- ・ 栃木県知事 福田富一様（代理）
- ・ 栃木県保健医療監 北澤潤様
- ・ 栃木県医師会会長 高嶋三喜様
- ・ 代理 栃木県医師会常任理事 福嶋稔様
- 一 新入生誓いのことは
- ・ 医療経営管理学科 増測瞳
- ・ 大学院 入江容
- 一 学部長・学科長紹介



式辞、来賓祝辞とプログラムが進行する中、医療福祉を志す九七二名の学部生と二九〇名の大学院生は、それぞれの思いを胸に、終始引き締まった表情を見せていた。

学部新入生を代表して、医療経営管理学科の増測瞳さんから「私たちは本日ここに、国際医療福祉大学の入学式として、夢と希望を持って入学できたことを大変うれしく思います。同じ目的を持った友人と助け合い協力して、豊かな心や幅広い教養を育み、人の痛みが理解できる人間に成長したいと思っています」と誓いのことが述べられると、新入生はさらに決意を新たにしました。

最後に学部長、学科長が紹介されて式は幕を閉じた。

式終了後は、「サークル紹介」や「学科別懇談会」「大学院生オリエンテーション」などが行なわれ、新入生にとっても保護者にとっても、学生生活への第一歩を踏み出す輝かしい一日となった。

（東京事務所 広報室 金井雅之）



学長式辞（要旨）

谷修一学長

本日入学した学部学生は九七二人、大学院生は二九〇人です。この中には、中国・韓国・インドネシア・ネパールなど学部・大学院合わせて一八名の留学生の皆さんも含まれております。多くの皆様が我が大学を選ばれ、保健医療福祉の専門職を目指すという選択をされたことに対し、教職員を代表して心から歓迎し、お祝いを申し上げます。

国際医療福祉大学は、医療や福祉の専門職の地位の向上と高度な教育、そして将来における優れた指導者が必要だとする時代の要請に応えるという大きな夢をもって、平成七年に開学しました。

学生の教育に関しては、開学以来、病める人も障害を持つ人も健康な人も、お互いを人間としての尊敬を認め合って生きる

ことを「共に生きる社会を築く」という理念で表わし、これを全学科に共通する教育の理想として掲げてまいりました。

さらに、本学の教育で重視していることのひとつは臨床教育です。大学のキャンパス内に、障害者のためのリハビリテーションセンターや言語聴覚センター、高齢者のためのグループホームや特別養護老人ホームなどを持ち、また隣の那須塩原市には、病院や老人保健施設など、さらに、静岡県熱海市に熱海病院、東京都港区に三田病院があります。このような医療福祉に関する幅広い関連施設を通じて、学生の皆さんの臨床教育の充実を目指すとともに、教員の先生方にとっては、研究や臨床技術の研鑽の場ともなっております。

学生の皆さんにとっては、教育の現場の中に医療や福祉の現場があることにより、障害者や病気の人と身近に触れ合い、将来の医療福祉職へのより明確な動機付けとなり、「共に生きる社会」を身近なものに実感できます。本学の基礎教育及び臨床教育によって、疾病の治療を目的とする福祉施設までの流れ、発達障害や身体障害、老年期障害など子どもから高齢者までの疾病・障害とライフサイクルの変化、医療・福祉サービスを支える多くの専門職種との連携やチーム医療、チームケアなどが理解できます。六年間の教育となる薬学部におきましても、このような考え方に基づき、医療や福祉を理解した医療人としての薬剤師の養成を進めてまいります。

大学院入学式

大学院では、それぞれのキャンパスでの入学式のほか、九州地区は四月七日（入学式当日）、東京・小田原・熱海は四月二日に歓迎会が催された。

入学者数は、前年を約五〇名上回り、過去最高の二九〇名を数えた。新設された医



入学式で挨拶する開原成允大学院院長

はこれからの大学生活で自分が目指す専門学科についての知識や技術を習得することは必須でありますが、多くの皆さんは将来、医療や福祉の現場で、人と直に接し、病氣や障害と向き合う仕事ですから、病に苦しむ人、障害に悩む人と同じ目線で、生身の人間として接することができるとかが大切なことだと私は考えております。豊かな人間性を養うという意味からも、自分の専門以外のことについて幅広い教養を持つことも大切です。常に命の尊さを思い、人に対する思いやりの気持ちと生きる幸せを感じる心を養っていただきたいと願っております。

皆さんのご健闘を期待して、私の歓迎の挨拶とします。

昨年、本学は文部科学省の進める「がんプロフェッショナル養成プラン」に自治医科大学と共同申請し採択された。この「がんプロフェッショナル養成プラン」では「がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがんに特化した医療人養成」が求められ、本学ではがん治療放射線技術師コース・がん薬物療法認定薬剤師コース・がん登録専門コースを開講し、今年は一期生となる七名が入学した。

入学式後の入学ガイダンスでは、学部につき引き続き今年から大学院でも導入された授業の「WEB履修登録」の説明が行なわれた。これにより、自宅からの履修登録や自分の時間割確認ができるようになるなど、院生の学習環境が数段に向上した。

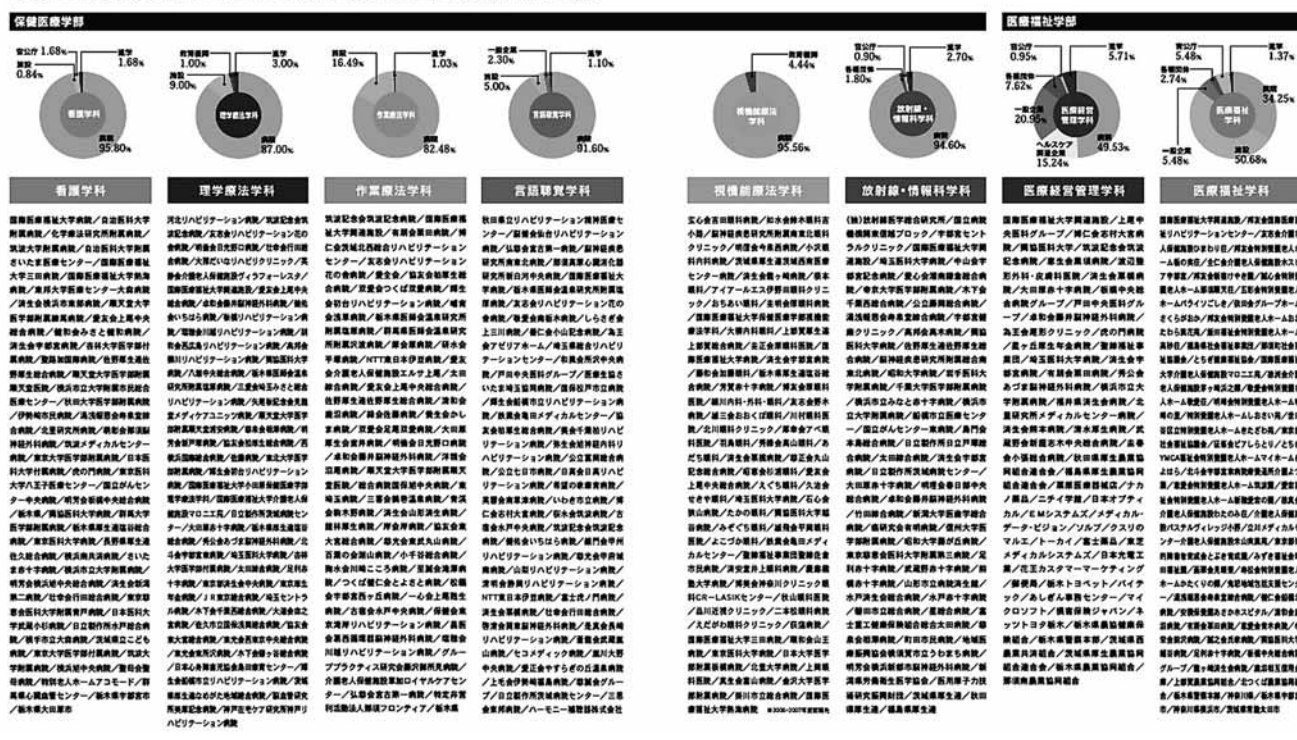


学部に入学者の新入生の皆さん

平成20年度新入学生概要	
■学部生	1340名
[本校]	972名
保健医療学部	590名
・看護学科	124名
・理学療法学科	102名
・作業療法学科	97名
・言語聴覚学科	94名
・視機能療法学科	51名
・放射線・情報科学科	122名
医療福祉学部	192名
・医療経営管理学科	86名
・医療福祉学科	106名
薬学部	190名
・薬学科	190名
[小田原キャンパス]	159名
小田原保健医療学部	159名
・看護学科	57名
・理学療法学科	51名
・作業療法学科	51名
[大川キャンパス]	202名
福岡リハビリテーション学部	202名
・理学療法学科	114名
・作業療法学科	47名
・言語聴覚学科	41名
■大学院生	290名
・保健医療学専攻修士課程	135名
・医療福祉経営専攻修士課程	62名
・臨床心理学専攻修士課程	26名
・保健医療学専攻博士課程	67名

平成19年度卒業生の進路 (平成20年3月末現在) (本校学生課)

卒業生の進路状況と2007年度卒業生の主要就職先 (2008年3月末現在)



平成19年度 国家試験受験結果

受験区分	受験者数 (名)	合格者数 (名)	合格率	全国合格率
看護師	124	117	94.4%	90.3%
保健師	120	98	81.7%	91.1%
助産師	6	6	100.0%	98.1%
理学療法士	99	97	98.0%	86.6%
作業療法士	98	86	87.8%	73.6%
言語聴覚士	88	84	95.5%	69.5%
視能訓練士	46	44	95.6%	94.9%
診療放射線技師	127	114	89.8%	73.2%
社会福祉士	152	91	59.9%	30.6%
精神保健福祉士	27	27	100.0%	60.4%

※本学合格率は新卒者の合格率。全国の合格率には既卒者や大卒者以外も含む。(本校教務課)

本学大学院臨床心理学専攻が財団法人日本臨床心理士資格認定協会から第1種大学院の指定を受けました。

平成八年度の資格審査規定の改正に伴い、臨床心理士資格試験を受験するには財団法人日本臨床心理士資格認定協会の指定を受けた大学院修士課程(博士前期課程)の修了が必須となりました。(医師、諸外国において大学院を修了した者を除く。)

大学院指定制について詳しくは、財団法人日本臨床心理士資格認定協会のホームページをご覧ください。
<http://www.docne.jp/~jcbop/contents.html>

大学院臨床心理学専攻が第1種大学院に指定されました

本学大学院臨床心理学専攻が財団法人日本臨床心理士資格認定協会から第1種大学院の指定を受けました。

平成八年度の資格審査規定の改正に伴い、臨床心理士資格試験を受験するには財団法人日本臨床心理士資格認定協会の指定を受けた大学院修士課程(博士前期課程)の修了が必須となりました。(医師、諸外国において大学院を修了した者を除く。)

大学院指定制について詳しくは、財団法人日本臨床心理士資格認定協会のホームページをご覧ください。
<http://www.docne.jp/~jcbop/contents.html>

介護福祉士資格は、これまで、国家試験(実務経験三年以上が受験要件)で取得する方法以外に、厚生労働大臣が指定する科目の履修により取得する方法があった。このため、従来、本学科の介護福祉コースの学生は、卒業と同時に介護福祉士資格を取得できたが、平成二二年度の入学から、全員が国家試験による取得にチャレンジすることとなる。また、従来、一六五〇時間であった所定の授業時間を一八〇〇時間に拡大し、内容の充実が図られた。

これらの改正を受け、本学科では、これまでの伝統を生かしながら、従来にもまして質の高い専門職教育を行えるよう、現在、新たなカリキュラム作りに取り組んでいる。

(医療福祉学科 小林雅彦)

「時代の要請に応じ 教育内容を拡充」

社会福祉士、介護福祉士制度改正

介護ニーズの増大や相談援助の場の拡がりなど、社会福祉専門職に求められる役割の拡大や環境の変化を受け、社会福祉士、介護福祉士の養成課程と取得方法に関わる制度改正が行われ、平成二二年度から順次実施されることとなった。

社会福祉士資格では、国家試験の受験に必要な指定科目が従来の一六科目から二二科目に拡大し、権利擁護や福祉計画などを内容とする科目が新設されるとともに、既存の科目の名称や内容の変更、組み替えなども行われた。また、実習担当教員の資格の厳格化を図るとともに、一定の経験を持ち、かつ所定の研修を修了した社

小田原保健医療学部入学式

四月三日(木)、小田原キャンパス六階体育館において、「平成二十年度 小田原保健医療学部・大学院入学式」が執り行われた。当日は式典にふさわしい好天に恵まれ、真新しいスーツに身を包んだ新入生一五九名が期待に満ちた表情で式に臨んだ。



開式の辞に続き、在校生有志により校歌が斉唱され、三年目を迎えた入学式が始まった。まず、谷学長が式辞として、新入生と保護者への歓迎のことば、本学の教育理念や特徴について述べられた。続いて、小澤良明小田原市長(市橋匠小田原市副市長代読)、原義明小田原箱根商

工業会所会頭から来賓祝辞をいただき、次いで学部生代表・大学院生代表が新入生誓いの言葉を述べた。学部生代表の作業療法学科・吉田あゆみさんは「これまで抱いていた夢を現実のものとし、先生方や先輩方に倣い仲間同士助け合い、笑顔と思いやりにあふれ、誰からも愛される医療従事者を目指し勉学に励むことを誓います」と、これから医療福祉の世界に歩み始める意気込みを述べた。

大学院生代表の博士課程・看護学分野・大谷喜美江さんは「保健師として自治体や企業で保健指導経験を積んできた中で、さらに高度な知識と体系付けられた最新の看護理論を身につけることで社会に貢献できるように、研鑽を積んでいくことを誓います」と研究者としてのさらなる一歩を踏み出したことへの決意を述べた。

最後に、谷学長から開原大学院長、北島副学長、岩尾副学長、高梨学部長、看護・理学療法・作業療法各学科長が紹介され式典は終了した。

式典後は学科ごとに集合写真を撮影し、新入生には先輩である学友会からの説明を行い、保護者には学科別の懇談会が開かれ、各学科教員が教育方針の説明を行った。入学の喜びと同時に将来への確固たる歩みを決意するスタートとなった。

(総務課 稲葉博之)

学部生代表としてあいさつする吉田あゆみさん

福岡リハビリテーション学部入学式

四月七日(月)、福岡リハビリテーション学部および大学院九州地区サテライトキャンパスの入学式が行われた。

今年度は、理学療法学科一四四名、作業療法学科四七名、言語聴覚学科四一名の合計二〇二名、さらに、大学院は福岡・大川・熊本の各サテライトキャンパスに合計三一名が入学した。入学式には新入生のほか、多数の来賓や保護者が出席した。



式は、谷修一学長、開原成允大学院院長の式辞に続き、高木邦格理事長が挨拶し新入生を激励した。続いて植木光治大川市長より祝辞をいただいた。

これを受けて新入生を代表して、理学療法学科・田中公平さんが「リハビリテーションを必要としている方々の力になれるように、高い教養を身につけ、医療福祉に関わる者として人間的に

研究に努めることを誓います」と誓いのことばを述べた。

(福岡リハビリテーション学部 高山奈弥)

も大きく成長したいと思っています。また、今日から始まる学生生活のなかで、大切なコミュニケーション力を培いながら、人として、医療に関わる者として、広い視野を持って理学療法士としての資質を高めていけるよう日々努力したいと思います」と力強い誓いのことばを述べた。

また、大学院新入生を代表して、医療福祉学研究科保健医療学専攻・長野毅さんが「社会人にも学びやすい環境整備のされた本学院の教育システムについて知り、ご指導いただき先生方のすばらしさに触れる機会があり、入学を決心しました。私たち新大学院生は、新たな目標に向けて、保健・医療・福祉の分野にとどまることなく、広い視野をもち社会的意義のある

開設以来恒例の『市民公開講座』を開催



日は前日から雨の降り続くあいにくの天気にもかかわらず、一五〇人を越える来場者が小田原キャンパスを訪れた。

全部で二の講座が用意され、一年生を中心に測定や健康チェックなど、入学以来身につけた医療知識をいかんなく発揮し、それぞれの講座で来場者に対して最高のパフォーマンスを披露した。内容を詳しく紹介すると、まず七階の解剖学実習室で行われた「人のからだって不思議（のぞいてみよう）組織標本、骨標本と人体模型など」では、約一〇台の顕微鏡が準備され、動物の細胞組織を観察しながら、学生が解説を加えるもの。参加者は食い入るように顕微鏡をのぞき、学生の説明に耳を傾けていた。

平成二〇年五月三十一日（土）、開設以来恒例となっている市民公開講座が開催された。今回で三回目となる春の公開講座のテーマは「わくわく測定2ーのぞいてみよう心と体」。子どもから高齢者、障害をもつ方も参加できる体験型の講座を開講し、健康・医療を通じて地域の方々と交流を深めているイベントである。当

六階の運動療法室では「体力・身体測定（高齢者対象・若年者対象の体力測定）が行われた。私が体験した若年者対象の体力測定では、まず血圧測定を行い、続いて反復横とびや腹筋、握力検査など複数の測定を行い、最後に計測した結果を

グラフ化し、からだの状態を判定するというもの。参加者は学生の説明にうなづきながら、自分の体力が現在どんな状態にあるのかを確認していた。また、この他にも、昨今テレビや新聞などで取り上げられている生活習慣病「メタボリックシンドローム」に焦点を当てた「あなたは大丈夫？メタボリックシンドロームを予防しよう！（胸囲測定、生活習慣セルフチェックなど）」や、今や多くの公共施設に設置されているAEDについての知識を身につける「AED（自動体外式除細動器）のつかい方」などの講座が行われた。ユニフォームに身を包み、参加者に説明する学生の姿からは、入学式で見られた初々しさから一転、医療・福祉の分野に一歩足を踏み出した、確かな成長を感じ取ることができた。このイベントの様子は地元タウンニュースでも取り上げられ、小田原市民の注目の高さを実感できるイベントになっている。

学生イベント 『学外オリエンテーション』を開催

平成二〇年五月一日（土）、今年度初めての学生イベントとなる学外オリエンテーションが開催された。こちらも開設以来恒例となっているこの学外オリエンテーションは、教員と新入生が学科を越えて交流を図ることを目的として、学生団体である「学友会」が中心となり企画・運営を行っている学生イベントである。過去二回は、小田原市内のいこいの森パ1ベキユールを会場として行われてきたが、今年度は、神奈川県箱根町にある県立



芦ノ湖キャンパスバーベキユール場に会場を変更して開催した。学生・教職員合わせて一七八名が参加。小田原駅からバスで現地へと向かった。前日から降り続く雨の影響で、野外でのバーベキユールは実施できなかったものの、屋内施設を利用して、用意した食材に舌鼓を打った。終了後、新入生からは「普段なかなか接点のない他学科の先生や先輩と交流を持ってよかった」「これからキャンパス内外での交流も幅が広がります」といった感想が多く聞かれ、「学科を超えた教員・学生の交流」という開催の目的は大いに達せられた。

今回の学外オリエンテーションは、前年度の学友会役員が中心となって企画・運営を行った。修了後には、新年度学友会選挙が行われ、新体制も整った。今後、潮風祭（大学祭）・スポーツ大会と続く学生イベントでの彼らの活躍に期待したい。（学務課 村山京三）

二期生が入学して…



ST学科助教 田宮愛先生

早いもので言語聴覚学科が開設して一年が過ぎた。今年も四一名の二期生が入学し、学科は少しにぎやかになった。一期生は主体的に二期生の歓迎会を催し、先輩として大学生活のアドバイスをしている。二期生は大学という新しい環境に少しづつ慣れ、皆意気揚々と生活している。その学生たちの様子を、言語聴覚学科の特徴的な取り組みとともに紹介する。

〈時間外学習〉

当学科では、四年間の大学生活を円滑に送ることと、社会に貢献できる言語聴覚士の育成を目指して時間外教育を実施している。今年度は、昨年一年間の経験を生かし、①言語聴覚士の仕事を知る②記録のとり方話し方実践③文章作成課題の三つに取り組みている。



STの仕事模擬体験

STの仕事は、学生は楽しく取り組んでいよう。だ。「記録をとる」ことは、実習のみならず、講義を受ける際にも大いに役立つであろう。

というモチベーションを高く持つことは難しいというのである。かといって臨床現場の見学はそう容易ではない。そのため「言語聴覚士まことガイド」という書籍を読み、将来就くであろう言語聴覚士の仕事の概要を学んでいる。読んだ後に行っているディスカッションは、言語聴覚士の資質・適正について考える、良い機会となっているようだ。

③文章作成課題では、ディスカッションをした後、文章を作成する。これは今後増えるレポート課題の書き方にも直結してくる。

①学生は「言語聴覚士」になるべく勉強をしているが、実際の臨床場面を見学した者は少なく、座学だけではその業務をなかなか想像しにくい。特に一年生では基礎科目が中心となるため、言語聴覚士になりたい



ディスカッション風景

また、この他にも、昨今テレビや新聞などで取り上げられている生活習慣病「メタボリックシンドローム」に焦点を当てた「あなたは大丈夫？メタボリックシンドロームを予防しよう！（胸囲測定、生活習慣セルフチェックなど）」や、今や多くの公共施設に設置されているAEDについての知識を身につける「AED（自動体外式除細動器）のつかい方」などの講座が行われた。ユニフォームに身を包み、参加者に説明する学生の姿からは、入学式で見られた初々しさから一転、医療・福祉の分野に一歩足を踏み出した、確かな成長を感じ取ることができた。

生にとっても教員にとっても体力と精神力を要するものであるが、将来きつと役立つものになるだろう。

〈アドバイザー制度〉

昨年同様、学生一学年一〇人弱に対して一名のアドバイザーを配置し、きめ細かな生活指導を行っている。大学生活はたやすなものではないだろうし、いろいろなことで悩む学生も多いだろう。これらを教員と

四校合同大運動会

晴天に恵まれ絶好の運動会日和となった五月十八日（日）、大川キャンパスグラウンドで、「第三回国際医療福祉大学・高邦会グループ四校合同大運動会」が行われた。福岡リハビリテーション学部、柳川リハビリテーション学院、福岡国際医療福祉学院、大川看護福祉専門学校から総勢約二〇〇名が集結。福岡リハ学部はA・B二チームに分かれ、五チーム対抗戦となった。

実行委員長の開会宣言での幕開け。山本匡介大川看護福祉専門学校校長の挨拶、各校代表者による力強い選手宣誓があり、午前中の競技は「棒引き」「借り者？競走」「綱引き」「玉入れ」。



応援合戦でのチアダンス



各校代表者5名による選手宣誓

共有することによって、楽しい大学生活を送る一助となればと思ふ。開設して間もない当学科は、真っ白いキャンパスに一人ひとりのカラーが描かれる。それは薄く濃く、他の色と交じり合つては変化し、少しずつかたちを作りつつある。これから先、どうなっていくのか。不安もあるが期待は大きい。四年後、言語聴覚士の誕生が楽しみである。（言語聴覚学科助教 田宮愛）

福岡リハビリテーション学部 高山奈弥

運動会の目玉、昼休みの応援合戦は、各校とも例年以上に趣向を凝らした。福岡リハ学部は、Bチームがお揃いの女子高生の格好で見事に息の合ったチアダンスを披露。可愛らしく女子高生に扮した男子学生が観客を沸かせた。Aチームもチームカラーの緑の衣装でダンスを披露。完成度の高いアクロバティックなダンスに拍手喝采だった。午後は、「障害走」「二〇人二脚」と続き、「大玉転がし」では福岡リハ学部の「OT北島先生・福田先生チーム」VS「PT岡先生・下田先生チーム」のアンカー対決で盛り上がり、僅差で「PT岡先生・下田先生チーム」の勝利。

最終種目は各校の俊足自慢を集めた「学校対抗リレー」。好スタートを切ったリハ学部Bチームが最後まで逃げ切り一着でゴール。一致団結し総合優勝に向けて奮闘したが、福岡リハ学部はBチームが二位、Aチームが三位となった。坂口登津子大川看護福祉専門学校副校長の総評、閉会宣言と続き、幕を閉じた。

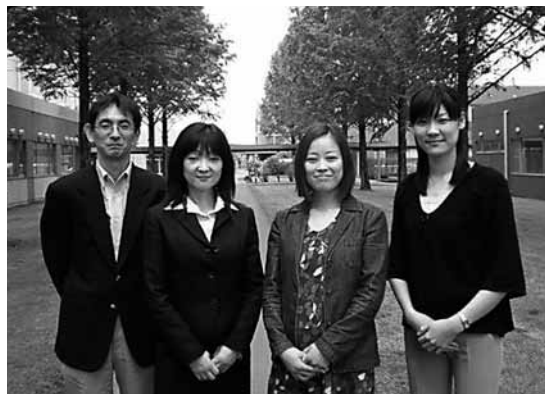
トピックス

Topics

看護学科

結ネットワーキング計画 第二報 母校と卒業生をつなぐ「結ネット」

皆様、こんにちは。私は二〇〇二年度卒業生で、現在、看護学科リクルート係の遠藤知典です。私の看護学科での四年間は、祭りに明け暮れて過ぎていきました。三六五日休まず弛まず、せこい花火に火をつける輩に開かれ、週一ペースで派手な花火を打ち上げる無類のお祭好きでした。そんな思い出の看護学科に教員として戻ってきた私に与えられたのがリクルート係！「卒業してきてくれてありがとうお祭り好きに今一度パワーを注入し、後継ぎを育て、でっかい花火を打ち上げるぞお」というのかと思いきや、現在村松



リクルート係：左端から遠藤助手、村松講師、阿久津助手、藤原助手

講師のもと、卒業生三名で「卒業生の本大学院進学や教員としての道を開き、母校の発展のために活躍できる場を提供する」という任務を遂行しています。

お祭り騒ぎのパワーあふれる想いは時間と共に色褪せてしまっても、母校が輝きを失わず、皆さんが生きていきと活躍していれば、あなたの看護の原点として、大学での四年間の思い出は輝き続けるはず。リクルート係では、卒業生と母校を結び、共に歩み続けるための絆作りを行っています。皆さんの参加を心よりお待ちしております。

(看護学科助手 遠藤知典)

国際医療福祉大学クリニック 言語聴覚センター 「ミニセミナー」開催

国際医療福祉大学クリニック言語聴覚センターでは、県北を中心とした関連機関(病院・福祉施設・学校・幼稚園・保育園など)に勤務するさまざまな職種の方や一般の方と共に学び交流する場として、また、学生教育の一環として、今年度も「ミニセミナー」を開催している。五月二十日(火)の「第一回ミニセミナー」では、医療法人尚寿会大生病院・耳鼻咽喉科・大前由紀雄先生から「危険な食べ方・安全な食べ方」と題し摂食嚥下障害についてご講演いただいた。看護師、介護職員、大学教員、保育士、言語聴覚士、学生など約百名の参加者は、専門的な内容に加え、飲み込みの実技などを交えたわかりやすくユーモアたっぷりな講演に熱心に聞き入った。

「第二回ミニセミナー」は七月二十九日(火)の予定。本大学言語聴覚学科・田中裕美子准教授をお招きし、「学習の躓きの早期発見と支援」と題して、学童期の学習の問題とその支援についてご講演いただく予定。本大学職員、関連施設職員、学生は参加無料ですので、ぜひご参加ください。お問合せは以下へ。

国際医療福祉大学クリニック
言語聴覚センター(内海・木暮・中込)
電話 0287-24-1133
FAX 0287-24-1003
(言語聴覚センター言語聴覚士 内海景子)

第九回日本言語聴覚学会 開催

六月二・三日の二日間、宇都宮市の栃木県総合文化センターにて、第九回日本言語聴覚学会・日本言語聴覚士協会総会が言語聴覚科学科長の藤田郁代先生を大会長として開催された。本学会は、日本の言語聴覚士が一堂に会する学会であり、二日間で全国各地から約二〇〇〇名を超える参加者を教え、大盛況であった。

プログラムは、会長講演、特別講演、教育講演、市民公開講座、臨床セミナー、シンポジウム、ランチョンセミナー、一般演題(口頭・ポスター)など多彩で、中には、立ち見が出て、さらに入場制限をしなければいけない会場が出るほどの盛況であった。また、一日目の夜には懇親会が、谷学長をはじめ、多くの来賓の



「国際視能矯正学会」に参加

方々にご出席いただき、盛大に行われた。本学ハンドベル部による演奏も行われ、澄んだ音色に参加者全員が癒された。事前準備の段階から当日に至るまで、学生の皆さんには多大なる協力を頂いた。その働きぶりは、協会の理事の先生から絶賛され、学会成功の原動力となった。また、栃木県言語聴覚士会の会員の皆様には多大なる協力を頂いた。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

(言語聴覚学科助教 谷合信一)

国際視能矯正学会は斜視・弱視の視能

「元培科技大学国際会議」に 本学学生三名が参加

三月十六日から一九日、本学の提携先である台湾の元培科技大学で、韓国・台湾・中国・日本の学生による「国際学生会議」が開催され、本学から大学院生二名が参加しました。

各国の学生が参加する、学会発表と国際交流を兼ねた会議でした。この会議への参加が決まった時は、英語でスライドを作成し、発表をしなければならぬという不安と重圧が大きかったことを覚え



ポスターセッションで討論中の筆者

矯正を専門とする視能訓練士と眼科医が一堂に会する学会で、四年に一回開催され、今回で十一回目となります。

今回は五月二日(三)日、ベルギーの古都アントワープで開催され、四十カ国から約六百名が参加して盛大に開催されました。欧米での視能訓練士の歴史は古く、発祥の地である英国を始め、オランダ、北欧諸国、米国、オーストラリア等から多数の発表があり、また、視能矯正の大家である米国のヘルベストン教授による基調講演も拝聴することができた。今回、私は北里大学との共同研究である「両眼闘争を用いた知覚優位性と眼位異常の関係」をポスター発表したが、会場は熱気に溢れ、熱心に討論が行われた(写真)。世界の第一線で活躍する視能訓練士と意見交換できたことは大変有意義であり、欧米における層の厚みを強く感じた。学会の合間には、「フランダースの犬」や「ルーベンスの祭壇画」で知られるノート

本学学生三名が 「第二回ESSC」優良賞を受賞

二〇〇七年五月一日(一)日〜二〇〇七年五月二日(二)日に行われた「第二回ESSC (Extreme-by Short Story Competition)」(日本「アジア英語」学会・JAF AE主催)に本学作業療法学科の一年生(現二年生)約五〇名が応募し、九〇〇名近い応募者の中から見事三名が優良賞を受賞しました。このコンテストはPPTファイルで五〇語程度の英文を作成し、デザイン(フォントやシートの選択)なども自らが

ルダム大聖堂を訪れることができ、帰路のスイーツケースはお土産のチョコレートで一杯になってしまった。今回は二〇一二年にカナダのトロントで開催される。(視能療法学科長 新井田孝裕)

http://essc.fta.jp/ (総合教育センター講師 齋藤智恵)

います。

第三回ESSCの募集期間は十一月三

〇日までです。優良賞の三人に引き続き、本年度も多くの学生に参加してほしいと思います。応募はこちらから。

優良賞に輝いた3作品
[Leaf] 五味沙織
[One Rainy Day] 鈴木頌太郎
[Who am I?] 秋吉孝裕

Leaf
I'm a green leaf. Outside is warm and I am sleepy.
I'm a red leaf. I am extremely sensitive to the cold.
I'm a yellow leaf. The girl wears a scarf around her neck.
I'm a brown leaf. The snow comes on.
It is time to go to bed.

ONE RAINY DAY
Drizzling, Drizzling, Today is a rainy day. It is quiet. It is just the sound of the rain I hear.
Drizzling, Drizzling, Today is a rainy day. The watch is going slowly. It is just the sound of the rain I feel.
Drizzling, Drizzling, I wish the rain cleaned me.

Who am I?
Who am I?
My body looks decreasing. But I don't know who I am.
My foot is black. But I don't know who I am.
I am in a big hand. But I don't know who I am.
Oh... I know. I am a pencil. I am just being used.



ています。それでもなんとか準備を終わらせて台湾に向かい、苦勞しながらも無事に発表を行うことができました。そして、個人的に最も楽しみにしていた国際交流へ。宿泊施設、観光、移動は全て韓国や台湾の学生、スタッフと一緒にだったので、元培科技大学の学生たちも含めて相互文化交流を行うことができました。滞在期間中はあいにくの天気でしたが、バス移動だったこともあり、観光も十分楽しむことができました。出発する前は不安と緊張で押しつぶされそうでしたが、終わってみれば今回の経験は、今後研究や臨床に携わっていく上で大きな経験値となったと思います。ありがとうございます。

（放射線・情報科学分野・修士課程 小西良幸）
日本からの参加者は本学二名、佐賀大学四名でした。参加学生の専攻分野は、看護、放射線、バイオ、心理などさまざまですが、保健医療に貢献するために研究をしていることは共通していました。英語が苦手な私は、出発前はコミュニケーションができるか心配でした。しかし、四日間、寝食をともにすることで、互いに理解が深まり、笑いの絶えない時間を過ごしました。そして、言葉や文化の違いがあっても保健医療分野において同じ志を抱いている者同士の絆を感じました。また、他領域の方との交流は、現在の保健医療の動向や課題について理解を深める生きた授業となりました。
私は看護師の役割拡大に関する研究をしていますので、台湾の看護師の役割について関心がありました。台湾の看護師は、患者の生命を守ることを第一優先し、

医師の指示がなくても救急処置を行うなど日本の看護師よりも裁量権があることを知りました。諸外国ではナースプラクティシヨナーという診療・処方ができる看護師が活躍しています。近隣では韓国でのナースプラクティシヨナーの活躍が報告されています。文献よりも事実を見聞したことで、日本の看護が国際的に見て自律性の部分で遅れを取っていることを実感しました。そして、博士課程での研究への強い動機づけになりました。今回、貴重な体験をさせていただいたことに深く感謝いたします。
（看護学分野・修士課程 関弘子）

初期臨床研修医のグループ合同オリエンテーション開催



国際医療福祉大学・高那会グループは質の高いチーム医療に貢献できる医師を育成するために、平成一七年よりグループが一体となつて「中央臨床研修委員会」を組織し、臨床研修指定病院（国際医療福祉大学病院、熱海病院、三田病院、高木病院）

の支援・研修医の募集・合同研修の企画・指導医の養成等を行ってまいりました。今年も四月十七〜十九日の三日間、四病棟の初期臨床研修医一六名を一堂に集めました。栃木地区と東京地区において、高木理事長、谷学長をはじめ多数の方々から貴重なご講義をいただきました。特に人格涵養、医療安全などの基本理念は医療のスタートラインに立つ若き医師にとっては、非常に有意義な内容であったと思います。
まだ日常の医療経験の少ない初期臨床研修医にとっては、研修の方向性が示されたといっても過言ではありません。最後に、開催にご協力賜った皆様、心から御礼を申し上げます。
（医学教育研修センター長 北島政樹）

「防犯意識高揚モデル大学」に指定

「犯罪を起こさせない・犯罪に遭わない」運動を展開する大田原署は、本学をモデル大学に指定し、五月二十七日、石原春雄署長が本学を訪れ、谷修一学長に委嘱状を手渡した。
本学は約四千人の学生のほとんどがアパートで暮らし、多くが通学に車を使うことから、空き巣や車上荒らしなどの犯罪防止への意識高揚が期待されている。期間は六月一日から九月八日まで。
先だって実施された学生アンケートでは、67・6%が「犯罪被害に遭うかもしれない」という不安を覚えている一方、

67・9%が空き巣に対する危機感が低いことがわかった。

平成二〇年度奨学生決定

本年度の「ニッセイ同和損害保険株式会社奨学生」「一〇名、及び「国際医療福祉大学奨学生」二七名が、厳正な審査の結果、次のように決まった。

●ニッセイ同和損害保険株式会社奨学生
五月二二日、東京都中央区明石町のニッセイ同和損害保険株式会社本社において、同社の岡崎名誉会長、須藤会長、立山社長、本学の高木理事長、谷学長、岩尾副学長、佐々木学生部長らの列席のもと、同奨学生一〇名の認証式が行われた。
この奨学生制度は、保健、医療、福祉の有為な専門職の育成を目指す本学の趣旨に賛同した同社により、平成九年に同社創立一〇〇周年記念事業の一環として設けられた。奨学金は原則として卒業まで支給され、返還の必要はない。
この制度により、平成一九年度までに九一名の学生が学んでいる。なお、今年度の応募者は三五名だった。

●国際医療福祉大学奨学生
六月二四日、国際医療福祉大学奨学生の表彰式が栃木本校で行われた。
この制度では、年間授業料の半額が免除される。
（本校学生課）

- 奨学生氏名
- ニッセイ同和損害保険株式会社
- 保健医療学部
- 看護学
- 飯村まどか（2年）
- 理学療法学科
- ティティ・ファティラー（1年）
- 言語聴覚学科
- 大谷康子（2年）
- 視機能療法学科
- 新保百恵（2年）
- 放射線・情報科学科
- 佐々木裕史（2年）
- 医療福祉学部
- 医療福祉学科
- 関根美土（2年）
- 滝沢路可（2年）
- 薬学部
- 薬学
- 江原邦明（2年）
- 小田原保健医療学部
- 理学療法学科
- 岡部綾（2年）
- 福岡リハ学部
- 作業療法学科
- 片山綾香（2年）
- 国際医療福祉大学
- 保健医療学部
- 看護学
- 関口ひかり（2年）
- 原美代子（3年）
- 西沢香織（4年）
- 理学療法学科
- 高橋典明（2年）

- 坂内将貴（3年）
- 佐藤亜美（4年）
- 作業療法学科
- 有坂由希（2年）
- 大場麻衣（3年）
- 上部甲鏡香（4年）
- 言語聴覚学科
- 北上守俊（2年）
- 額賀淳尾（3年）
- 磯侑里子（4年）
- 視機能療法学科
- 鈴木舞（2年）
- 谷口夏季（3年）
- 小久保紫乃（4年）
- 放射線・情報科学科
- 八巻伸（2年）
- 鈴木美樹（3年）
- 田代和也（4年）
- 医療福祉学部
- 医療経営管理学科
- 永井沙織（2年）
- 高久篤史（3年）
- 柴田麻記子（4年）
- 医療福祉学科
- 高橋亜希（2年）
- 金久保正光（3年）
- 宇賀神涼子（4年）
- 薬学部
- 薬学
- 齋藤美咲（2年）
- 清水香那子（3年）
- 関口麻由美（4年）

社会資源は「個人や集団の生活上の諸問題を解決し、または充足するために役立てられるすべて」と定義されます。もちろん、介護保険制度も社会資源の一つです。制度について、臨床現場と行政では見方が違うとの意見を聞きます。たしかに、利用者と実際に接する臨床現場では、希望するサービスをいつでも十分に提供すべきだと考えるでしょう。行政（厚生労働省）で勤務した経験を踏まえ、大切な社会資源（制度）をより良く提供するために必要なことについて考えてみます。行政では、社会資源の提供において「順序性」と「公正な配分」を考えます。「順序性」とは、住民・地域・企業・行政の役割分担を示す「補完性の原則」として整理されています。具体的には、「身の回りの問題は、まずは個人や家庭が解決にあたり（自助）、個人や家庭で解決できない問題は地域で解決し（共助）、それでもできない問題は行政が解決する（公助）」ということになります。これは家庭・地域機能の変化に伴い、行政が対応する問題の範囲が変わることを示しています。
次に、「公正な配分」については「アメリカ医療の夢と現実（トーマス・S・ポードンハイマー、ケヴィン・グラムバツハ著）」の記述が参考になります。同書では、公正な配分とは「効果が期待できるすべての医療をすべての患者に提供できる」とは限らない場合、財源も含め、医療費

私の主張 第9回 社会資源（介護保険制度）についての一考

北島栄二
福岡リハビリテーション学部
作業療法学科准教授



に投入される資源を制限し、同時に限られた資源を公平に分配すること」と述べています。また、人口集団全体と個々の患者に対する資源供給のルールが必要になると述べています。
介護保険制度において、社会情勢を考慮し、「公助」の範囲が徐々に見直されつつあることを感じます。平成一八年度の介護保険制度報酬改定では、在宅と施設および軽度者と中重度者の配分において、改定率にメリハリがつけられました。今後予測される財源不足を懸念し、「制度の持続可能性」を基本的視点とした改正です。このように、制度の実施について社会情勢と財源を含め、全体を考えるのが行政の役割です。
制度の円滑な実施のために、臨床現場と行政は役割を分担しています。大切な社会資源（制度）をより良く育むためには互いの役割を理解し、制度を「ともに支える」ことが必要ではないでしょうか。

臨床実習に向けて
 ～実習生たちへのメッセージ～
 学生の皆さんこんにちは。前期試験が終わり、待ちに待った夏休みですね。学科によっては前期から、また夏休み中から現場での臨床実習が始まり、期待と不安が入り混じった心地良い緊張感のある日々になりますね。後期、特に九月から十一月は国際医療福祉大学病院も院内至るところに様々な学科の学生さんがいる風景となります。生き生き実習している学生さんといえば、不安な面持ちの学生さんもあります。私も本学の卒業生で、皆さんと同じように実習を行いました。

というわけで今回は、臨床実習に向けてどんな心構え・準備をしたらいいのか、臨床現場からの声として微力ながらメッセージをお送りしたいと思います。

皆さんは、実習で何を学べば良いのでしょうか。技術的なこと？患者様のことを把握する？机上での知識を臨床で確認する？これらのことは、確かに重要ですが、現場で求められることはこれらの他にも大事なことがあります。机上では得られない現場ならではの、患者様や目上のスタッフとの接し方も学び、自己のコミュニケーション力を確認してほしいと思います。挨拶がきちんと適切なタイミングでできる、困った

施設インフォメーション
 News: Affiliated Facilities
附属病院
国際医療福祉大学病院

ときに質問できる、専門知識を含めていろいろなることに気がつける等の観察力や状況判断能力も重要です。こうした能力は、経験の積み重ねでできるようになると思いますが、患者様とスタッフが、またスタッフ同士がどんなコミュニケーションを取って、患者様のためのどんな業務を行っているか、よく見て体験してください。

なかなか実習地に慣れなくて、やっと慣れてきた頃実習が終わってしまうという方、実習期間での目標を立てましょう。一週目は現場に慣れる、二週目は一日五回質問するなどの自分なりの目標を立ててみるのはどうでしょうか。緊張しやすく患者様を前にすると真っ白になってしまう方、実習地を予め見学する、患者様を想定して模擬練習等の具体的な事前準備を考えてみてはどうでしょうか。現場でどのように動いたらいいかわからない、何をしたらよいかわからないという方、スティーパーバイザーでなくとも身近で聞きやすいスタッフをみつけ、話せるようになりましょう。

これらは一つの提案です。学科毎に実習スタイルも異なり、個人の特性や環境も違いますので一概には言えませんが、応用できる部分があるとよいですね。実習が実りあるものになるよう応援しています。
 (リハビリテーション室 宮崎朋美)



附属病院
国際医療福祉大学三田病院
「東京都認定がん診療病院」に認定
 本年四月、三田病院は「東京都認定がん診療病院」に認定されました。東京都認定がん診療病院とは、東京都が都民に高度ながん医療を提供するため、国が指定するがん診療連携拠点病院と同等の高度ながん診療機能を有する病院を選定し認定するものです。このたび三田病院は以下の九病院とともに認定を受けました。

東京慈恵会医科大学附属病院
 東京都済生会中央病院
 順天堂大学医学部附属順天堂医院
 昭和大学病院
 東京医療センター
 慶応義塾大学病院
 厚生年金病院
 東京医科大学病院
 日本医科大学多摩永山病院



講演する北島政樹院長

- ① 学術図書委員会主催
 日時 四月十日(木)
 演者 北島政樹院長
 テーマ 「二世紀外科の目指す先進医療 新人職員をはじめ、約二百名の職員が参加し、質疑応答では活発な意見交換がなされました。」
- ② 医療安全対策室研修会
 日時 六月十七日(火)
 演者 東京都保健福祉局健康安全部 事務課 麻薬対策担当 市谷祐司様
 テーマ 「麻薬・向精神薬の取扱いと事例報告」
- ③ がん治療支援・緩和ケアチーム研修会
 日時 六月十九日(木)
 演者 本学大学院 小島秀吾准教授
 テーマ 「がん診療におけるメンタルケア」
 (総務企画課)

消費収支計算書

本年度(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
 前年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
 (単位:千円)

科目	本年度	前年度	増減
消費収入の部			
学生生徒等納付金	7,180,412	6,360,874	819,538
手数料	190,453	233,275	△ 42,822
寄付金	630,009	372,881	257,128
事業収入	291,987	213,970	78,017
医療収入	21,121,871	13,227,324	7,894,547
資産運用収入	19,237	56,391	△ 37,154
補助金	956,288	907,284	49,004
雑収入	305,582	367,828	△ 62,246
資産売却収入	216,563	400	216,163
帰属収入合計	30,912,402	21,740,227	9,172,175
基本金組入額	△ 871,734	△ 4,376,834	3,505,100
消費収入合計	30,040,668	17,363,393	12,677,275
消費支出の部			
人件費	12,635,217	9,350,956	3,284,261
教育研究経費	2,542,207	2,103,903	438,304
医療経費	8,678,430	6,034,824	2,643,606
管理経費	6,201,713	3,986,100	2,215,613
借入金等利息	164,272	133,967	30,305
資産処分差額	0	0	0
徴収不能引当金繰入	0	0	0
消費支出合計	30,221,839	21,609,750	8,612,089
消費収支差額	△ 181,171	△ 4,246,357	4,065,186

貸借対照表 平成20年3月31日 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部			
固定資産	41,835,282	41,662,163	173,119
有形固定資産	41,075,966	40,798,491	277,475
土地	11,965,016	11,875,118	89,898
建物	21,204,373	20,375,490	828,883
構築物	1,249,084	1,211,551	37,533
教育研究用機器備品	4,671,497	4,959,275	△ 287,778
その他の機器備品	1,226,277	1,161,892	64,385
図書	585,972	527,355	58,617
車輛	12,123	12,694	△ 571
建設仮勘定	161,624	675,116	△ 513,492
その他の固定資産	759,316	863,672	△ 104,356
借地権	2,190	2,190	0
電話加入権	4,488	3,010	1,478
水道施設利用権	361	542	△ 181
有価証券	125,000	425,000	△ 300,000
長期貸付金	74,220	58,675	15,545
差入保証金	543,057	364,255	178,802
学術図書特定資産	0	0	0
長期預け金	10,000	10,000	0
流動資産	8,598,522	7,305,116	1,293,406
資産の部 合計	50,433,804	48,967,279	1,466,525
負債の部			
固定負債	8,741,223	8,565,201	176,022
流動負債	8,916,701	8,316,761	599,940
負債の部 合計	17,657,924	16,881,962	775,962
基本金の部			
第1号基本金	38,916,080	38,336,346	579,734
第4号基本金	1,676,000	1,384,000	292,000
基本金の部 合計	40,592,080	39,720,346	871,734
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費支出超過額	7,816,200	7,635,029	181,171
消費収支差額の部 合計	△ 7,816,200	△ 7,635,029	△ 181,171
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部 合計	50,433,804	48,967,279	1,466,525

平成一九年度 学校法人国際医療福祉大学 決算報告
 平成一九年度は、薬学部と福岡リハビリテーション学部が開設三年目、さらに小田原保健医療学部も開設二年目であることから、完成年度へ向けての中長期計画途上にある年度であった。しかしながら、これら新設三学部の進行年次途上にある今期で、約二三億円の減価償却前利益を確保することができた。さらに、基本金はこの三年間で一〇〇億円以上の増加をみていることから、教育施設や教育設備が充実してきて、計画通り規模が拡大していることが伺える。なお、平成二三年度に新設三学部が揃う完成年度を迎えるが、今期と比較すると約一六億円の増収となり、財務体力・経営内容ともに飛躍的に向上することになる。
 (経理部長 鐘江高之)

私のおすすめ本

北原保雄編 問題な日本語
 大修館書店

私は、学生から「くじやないですか」と言われると、無性に腹が立ちます。会話の途中で、何故いちいち確認されなきゃいけないのでしょうか。本当に腹が立ちます。ましてや、自分より年上の人からも「くじやないですか」と言われた日には、怒りよりもガツカリ感でいっぱいになってしまいます。

一時期、この「くじやないですか」という表現に、何故違和感があるのだろうと思ひ、数冊の日本語本を読んだことが

誤用として用いられる理由についても言及しているのです。

誤用を糾弾しない例として、言葉は使われているうちに変化することがある、ということをご前提として書かれている部分があります。例えば、「すこい疲れた」という表現では、本来、形容詞の連用形である「すこく」を用いるのが、文法上では正しい用法です。しかし、この本では、「すこい」と使われている事例を示し、用法が固定したいいわゆる「standard」(事実上の標準)として使用できるとしています。

人の表現が気になって、この本を読んでいたが、読み進むうちに、自分も変な表現を知らないうちに使っていたことに気が付かされました。時々挿入されている漫画も楽しく、肩肘張らずに読める本ですので、学生の皆さんにも気楽におすすめできます。また、トピックとしている表現以外にも、コラムの形で多くの日本語表現について取り上げられています。その内容は、活用形や漢語と和語といった文法上の知識を必要とするものもあります。ですので、学生のみなならず、先生方にもおすすめできる本です。正しい表現でコミュニケーションをとらなければならぬ、実習前の学生さんには、特に読むことをおすすめします。だって、学生が使っている言葉が変わらなくて、実習とかで怒られるのはいやじゃないですかあ。

保健医療学部理化学療法学科 講師 下井俊典



顕微鏡をのぞく少年と研究所長



小さなナースと看護部長

また外来診察室やリハ室などを使用し、顕微鏡によるがん細胞の観察、聴診器の診察体験、白衣を着用した記念撮影会などの体験コーナーや、看護師などによる血圧、体脂肪、骨密度の測定を行うメディカルチェックコーナーなどを設置。長い行列ができ、まだ肌寒い時期にもかかわらず館内は熱気



快晴の空とエアアーチ

臨床医学研究センター(東京地区) 化学療法研究所附属病院

「オープンホスピタル」
三月一六日(日)、新棟の竣工一周年を記念し、病院を一日開放する『化研病院オープンホスピタル』来て・見て・体感しました。『オープンホスピタル』

普段はなかなか足を踏み入れることのできない放射線室、内視鏡室、化学療法室などの見学や、六、七月に事業開始を予定している通所リハビリテーション室、人工透析室をプレ公開。各所に置かれた神経内科医監修の簡単な質問に答えていくと物忘れ度がチェックできるスタンブラリーでは、小学生からお年寄りまで積極的に参加する姿が見られました。

このような企画は、地域のみなちに病院を身近に感じてもらうと全国各地の病院で取り組みはじめています。当グループ内施設では初の試みでしたが、約七〇名の参加した職員が、職種の枠を超え、ひとつの目標に向かって取り組むことで、職員同士の交流を深めることができました。四月には診療科の新設や新入職者が多数加わり、この勢いを今年度のさらなる飛躍へつなげていきたいと思えます。(総務企画課)

また、介護用品やAED(自動体外式除細動器)の使用法の説明、栄養相談では資料の配布に加え、試食コーナーも設けました。AEDについては「聞いたことがあっても怖くて触れなかった」「自分でも使うことができるんだ」といった声を聞くことができ、興味を持っていただくことができました。

「新型インフルエンザ講習会」開催
五月二三日(金)に、横浜市立市民病院感染症部長であり、厚生労働省厚生科学審議会委員を務めるなど、感染症について深い造詣をお持ちの相楽裕子先生を講師としてお迎えし、今後感染拡大が危惧されている新型インフルエンザ対策について、お話を伺いました。タイトルは「フェーズ4以降の新型インフルエンザ対策―中核病院の役割―」

当日は職員約百名が参加しました。講演に引き続き、活発な意見交換が行なわれ、さらに終了後も、職員から相楽先生への質問が続いて、このテーマに関する当院での関心の高さを伺うことができました。今回の講演内容を踏まえ、対策マニュアルの見直し等の参考にしていきたいと考えています。(総務課)

で溢れていました。そして昨年より始まった地域住民向けの公開講座「第四回けんこう教室」では、医師による「胆石症」に関する講演、理学療法士による講演とリハビリ健康体操が行われ、定員二〇〇人の会場を埋め尽くす人たちが熱心に耳を傾けていました。

他にも、全国に先駆け「健康都市」を宣言している地元市川市が、本年一〇月開催のWHO健康都市世界大会(国内で初)PRブースを、また市川市の健康都市推進をサポートする市民団体「健都会」が「生活力・体力測定」ブースを、また国際医療福祉大学が「大学紹介」ブースを出展。さらには近隣住民による絵画展や楽奏演奏会、介護福祉関連機器の展示会、飲食コーナーなど多彩な催しを用意しました。当日は家族連れなど七百人を超える来場があり、楽しみながら「医療」「健康」そして「当院」への関心を高めていただくよい機会となりました。



みんなで体操

附属病院 国際医療福祉大学熱海病院

「看護の日のイベント」開催
フロレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、毎年五月二二日は「看護の日」。この日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」です。



看護の日のイベント開催

身長・体重・体脂肪・握力・血圧・腹囲【計測・測定】
【展示コーナー】
介護支援グッズ・AEDの使用方法紹介・栄養相談(試食・栄養相談資料)



展示コーナー

は、介護用品やAED(自動体外式除細動器)の使用法の説明、栄養相談では資料の配布に加え、試食コーナーも設けました。AEDについては「聞いたことがあっても怖くて触れなかった」「自分でも使うことができるんだ」といった声を聞くことができ、興味を持っていただくことができました。

また、お子様向けに、船のつかみ取りやヨーヨーすくいを行いました。

五月二三日(金)に、横浜市立市民病院感染症部長であり、厚生労働省厚生科学審議会委員を務めるなど、感染症について深い造詣をお持ちの相楽裕子先生を講師としてお迎えし、今後感染拡大が危惧されている新型インフルエンザ対策について、お話を伺いました。タイトルは「フェーズ4以降の新型インフルエンザ対策―中核病院の役割―」

当日は職員約百名が参加しました。講演に引き続き、活発な意見交換が行なわれ、さらに終了後も、職員から相楽先生への質問が続いて、このテーマに関する当院での関心の高さを伺うことができました。今回の講演内容を踏まえ、対策マニュアルの見直し等の参考にしていきたいと考えています。(総務課)

「新型インフルエンザ講習会」開催
五月二三日(金)に、横浜市立市民病院感染症部長であり、厚生労働省厚生科学審議会委員を務めるなど、感染症について深い造詣をお持ちの相楽裕子先生を講師としてお迎えし、今後感染拡大が危惧されている新型インフルエンザ対策について、お話を伺いました。タイトルは「フェーズ4以降の新型インフルエンザ対策―中核病院の役割―」

臨床医学研究センター(東京地区) 山王病院



山王病院 院長 自己紹介

国際医療福祉大学学部・大学院の皆様こんにちは。国際医療福祉大学関連病院の一つ山王病院に院長として着任した堤です。新任の挨拶と山王病院特にリプロダクションセンターの紹介をさせていただきます。

山王病院は港区赤坂、地下鉄乃木坂駅と青山一丁目駅のほぼ中間に位置しています。エントランスホールには、都会的な雰囲気を醸成する高さ三七mのアトリウムがあり、病院とは思えないぬくもりを感じられます。診療体制は、一五の診療科と三つのセンターから成り立っており、各科の診療内容のご懐妊を拝診、ご出産が安産だったことです。

山王病院

山王病院は港区赤坂、地下鉄乃木坂駅と青山一丁目駅のほぼ中間に位置しています。エントランスホールには、都会的な雰囲気を醸成する高さ三七mのアトリウムがあり、病院とは思えないぬくもりを感じられます。診療体制は、一五の診療科と三つのセンターから成り立っており、各科の診療内容のご懐妊を拝診、ご出産が安産だったことです。

や医師の専門や履歴は山王病院ホームページ(www.sannoclr.jp)をご覧ください。

女性が社会で活躍する機会が増え、ライフスタイル・ライフスタイルが変化するに伴い女性の病気の発生時期や頻度が大きく変わってきています。子宮筋腫や子宮内膜症は最近増加の一途をたどり、不妊症も七組に一組という程増えています。リプロダクティブヘルス・リプロダクティブヘルスという言葉があります。リプロダクティブヘルスとは、個人のサイト・www.reprohealthsumi.jpも参照ください。また生殖医療では、必要に応じて、人工授精、体外受精、顕微授精等のassisted reproductive technology (ART)が行われます。この生殖医療はタイミングが大事なこともあり、リプロセンターは土日祭日もオープンしています。

山王病院では院長職と同時に、一般外来や生殖補助医療、腹腔鏡下手術、妊娠や出産の現場でも大勢の患者さんと接しています。落ち着いた雰囲気です。「病院らしくない」といわれる山王病院ですが、職員一同地域医療の担い手として患者さん本位の医療を目指して努力しています。将来皆さんと一緒に働くことができれば大変嬉しく喜ばしいことだと思ひ、お待ちしております。(山王病院院長 堤 治)

新宿けやき園



1階地域交流スペース

特別養護老人ホーム・障害者支援施設「新宿けやき園」は、昨年二月に着工、約一年一カ月かけて六階建ての施設が完成し、去る六月一日、無事、開設の運びとなりました。この間には、グループ皆様方の多大なるご協力を頂きましたこと、心よりお礼申し上げます。また、今後とも引き続きご指導、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

当施設は、新宿区では初めてとなるユニット型個室の特別養護老人ホーム(入所定員一〇〇名、短期入所定員一〇名、認知症対応型デイサービス(定員一〇名)、障害者入所支援(定員一〇名、短期入所二名)、生活介護(二〇名)から構成されています。さらに、一・二階には地域交流スペースを配置し、地域の方々の日常生活に溶け込める施設にしていきたいと願っております。



「新宿けやき園」は入所者、ご家族の方々に安心して利用して頂ける施設、地域に根ざし、近隣の皆様に親しまれる施設となりたいと思っております。

グループ職員の皆様方は、奮ってボランティアにもご参加くださいますようお願い申し上げます。(新宿けやき園 平石守)

臨床医学研究センター(九州地区) 高木病院

第二回大川市「未病と健康のつどい」

「メタボって何か知ってる？」をテーマにした第二回大川市「未病と健康のつどい」が五月二十五日(日)、大川市文化センター大ホールで開かれ、集まった市民約300人が肥満や内臓脂肪蓄積がもたらす怖さを知り、メタボ予防の運動と食事について熱心に学びました。

大川市と日本未病システム学会の主催、国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部の共催、大川三瀬医師会などの後援で開かれたこのイベントは昨年に次いで二回目。事務局を高木病院が引き受けました。

講演に先立ち、山本匡介・日本未病システム学会常任理事・高木病院院長(開催責任者)と植木光治・大川市長が主催者あいさつ、松本英則・大川三瀬医師会長が祝辞を述べました。

講演では、まず、山本院長が「健診から見たメタボの実態」と題し、高木病院予防医学センターの人間ドック受診者五一〇七人のデータを基に、メタボの高い有病率(男性一七・三%、女性二・一%)を実証しました。

次いで清原裕・九州大学大学院教授が「メタボリックシンドロームはなぜ怖い」と題し、四〇数年におよぶ福岡県久山町における全町民疫学調査のデータを駆使して、メタボが糖尿病・がん・認知症発生のリスクを増大させている、と警鐘を鳴らしました。



全員で行ったメタボ退治の運動

では、どうすればメタボにならずにすむのか。庄野菜穂子・ライフスタイル医学研究所長(佐賀市)はタイプ別の食生活の改善法を示し、食とともに運動の大切さを訴え、会場全員が立ち上がり、手足を伸ばす運動指導も行いました。

休憩後の特別講演では、日本肥満学会理事長の松澤佑次・住友病院院長(大阪市)が「メタボリックシンドロームと内臓脂肪」の演題で、「運動がなぜよいか、それは内臓脂肪を減らし、アディポネクチンが増えるからだ。健康を維持するには一に運動、二に食事、しっかりと禁煙、お酒は適度に」と強調しました。

(注)アディポネクチン 脂肪細胞から分泌されるホルモン。インスリン感受性を高めたり、脂肪を燃焼させたり、血栓予防や動脈硬化予防の作用があると考えられている。

(広報室 鶴田憲司)

総合ケアセンターもち 092-831-1900

福岡市の新都心・シーサイドもちに 福祉サービスの拠点

「総合ケアセンターもち」が誕生!

国際医療福祉大学・高邦会グループが、福岡市のシーサイドもち(早良区百道浜)で、進めているプロジェクト「シーサイドもち開発事業」の一部となる「総合ケアセンターもち」がこのほど開設しました。

同プロジェクトは、医療法人社団高邦会を中心にして、福岡市の新都心・シーサイドもちに、病院や学校そして福祉施設が一体となった複合施設を建設するというもの。その福祉部門の拠点となるのが、今年4月に福岡国際医療福祉学院と同時に完成した「総合ケアセンターもち」です。提供していくサービス内容は、指定居宅介護支援事業、通所介護事業で、併せてグループ病院の福岡中央病院では、訪問リハビリテーションもスタートします。

指定居宅介護支援事業所では、介護におけるさまざまな問題に対して、総合的に相談を受け付け、ご本人やご家族の身になって対応します。また、介護保険利



総合ケアセンターもち

用に関することや地域の介護サービスの情報提供なども行います。

通所介護事業を行う、「アクトライフプラザもち」では、



ダイニング：日当たりもよく心地良い空間

福岡中央病院の訪問リハビリテーションでは、生活において日常生活活動の自立と社会参加の向上を図り、障害を持つ方が在宅の環境に適應できるように、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が訪問し、自立支援に向けたサービスを提供します。

「総合ケアセンターもち」は、シーサイドもちの景観になじんだ、落ち着いた外観が特徴です。また、建物の内部は、木目調の内装で、温かみのあるこだわりの家具などを取り入れることで快適な空間としています。また、通所介護事業では、パワリリハビリテーションの最新機器も備え、リハビリテーションの専門職も勤務し、リハビリテーションサービスにも力を入れております。地域の方が気軽に集うことができるような空間を目指して参ります。

(九州・広報 原田ちはる)

医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科(仮称)が誕生します!

医療福祉学部は2009年度、医療経営管理学科、医療福祉学科の2学科を統合して、**医療福祉・マネジメント学科(仮称)**に学部改組計画中です。

最近、進んだ施設では、患者さんの退院後の生活を見据えたカンファレンスが行われるようになり、福祉的素養をもった医療職と、医学的知識をもった福祉職が、議論を行いながら、ケアプランを作成しています。今後このような医療と福祉を統合するような動きが急速に進行するものと思われれます。

医療福祉・マネジメント学科(仮称)は、こうした時代の要請を先取りし、今後必要とされる福祉職を養成するため、これまで以上に、福祉と医療についての「広い知識」と「高い専門性」を身につけることを可能にしました。

POINT

医療職と福祉職では、見方・考え方が異なる!

医療職は、身体の中の病態像に着目し、本人の健康維持を重視するのに対し、福祉職は、日常生活の障害に着目し、本人の気持ちや生活の質を重視します。

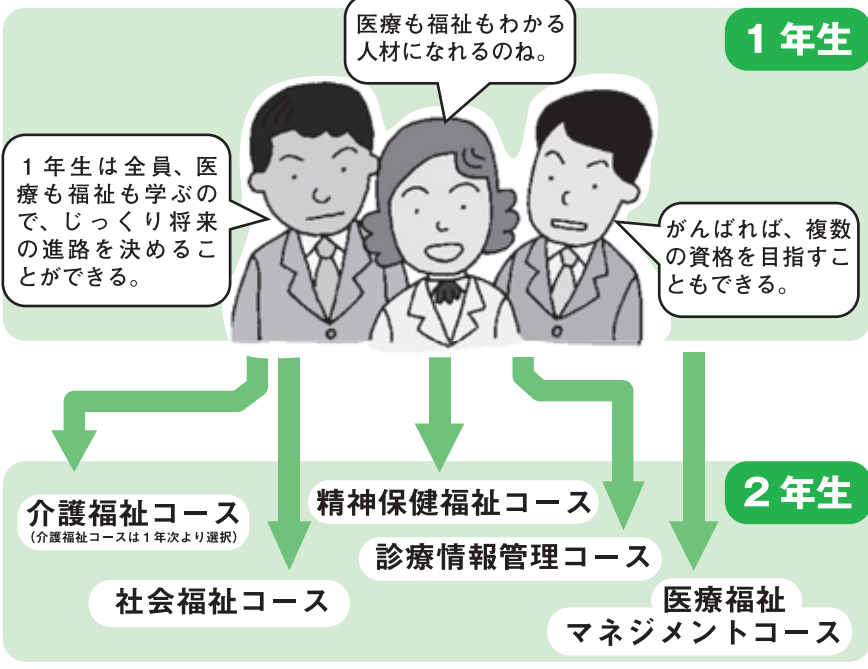


医療職

これからの時代、利用者には、**医療と福祉が手をつなぐ**ことが不可欠。



福祉職



1年生

2年生

医療も福祉もわかる人材になれるのね。

1年生は全員、医療も福祉も学ぶので、じっくりの進路を決めることができる。

がんばれば、複数の資格を目指すこともできる。

介護福祉コース
(介護福祉コースは1年次より選択)

精神保健福祉コース

診療情報管理コース

社会福祉コース

医療福祉
マネジメントコース

●介護福祉コース

介護福祉士と社会福祉士のダブルライセンスを取得して、介護福祉領域のエキスパートをめざすコース。将来、専門介護福祉士やケアマネージャーをめざす人には最適なコースです。卒業生は介護福祉施設や在宅介護サービス機関などで活躍しています。

●精神保健福祉コース

社会福祉士と精神保健福祉士のダブルライセンスを取得して、精神保健ソーシャルワーカーをめざすコース。本コースは、過去受験者のほぼ100%がダブルライセンス取得を実現しており、卒業生は病院のソーシャルワーカーあるいは社会復帰施設の専門職として活躍しています。

●社会福祉コース

社会福祉士受験資格取得の学習にプラスして、児童家庭福祉や障害者福祉、高齢者福祉、地域福祉福祉行政、医療ソーシャルワーカーなどの専門領域の学習を積み上げるコース。卒業生はそれぞれの領域の福祉施設や病院、行政、社会福祉協議会、シルバービジネスなどで活躍しています。

●診療情報管理コース

電子カルテや診療録から必要な情報を抽出し診療情報を作成したり、カルテの内容が適切であるかを監査したりするのが診療情報管理士。本コースでは、今後急速に重要となる診療情報管理で、中心的な役割を担う診療情報管理士の育成をめざします。

●医療福祉マネジメントコース

ヘルスケア関連分野などで、管理・企画・営業などの業務を担える人材を育成します。医学や生活機能の知識をベースに、医事や経理、情報処理、経営の基礎、マーケティング、最先端の医療福祉動向など、医療福祉のマネジメントに不可欠な知識を修得。また、一般企業で働く場合に必要となる企画力や営業力も養われます。

「医療福祉チャンネル774」おすすめの番組

医療福祉チャンネル774では、衛星放送スカイパーフェクTV!774チャンネルで、医療・福祉・健康・介護に関する教育、教養、情報番組を放送!

社会保障制度論

制度の仕組み、成り立ちから現状、方向性

社会保障制度の基本的な考え方、現状、法体系、社会保障をめぐる情勢などを概観し、社会保障の各制度や計画等、今後の改革の方向を分かりやすく解説します。さらに、諸外国の社会保障の歴史、現状なども紹介し、わが国がめざすべき社会保障制度を提言していきます。



和田勝氏 (本学大学院教授)

死生学概論

「生」との対比で、「死」を深く具体的に考える

特に、医療や福祉の様々な現場で遭遇する「生と死の課題」に、プロフェッショナルとしてどのように立ち向かうのかという視点から事象やテーマを取り上げます。そして、具体的な行動につながるための知識とコミュニケーションスキルに焦点を絞ります。



小野充一氏 (早稲田大学人間科学学術院教授)

◆衛星放送スカパー! ◆インターネット

774視聴者特典として、受験講座を医療福祉チャンネル (<http://www.ch774.com/>) で無料配信中! フリーダイヤル・Eメール (下記参照) で、お客さま係までご連絡ください。ユーザーID・パスワードをお知らせします。

介護福祉士受験講座

ニーズが高まる介護のプロをめざす

介護保険制度改革、障害者自立支援法施行、高齢者医療制度改革、権利擁護制度見直しなど、様々な社会潮流の変化が、出題に反映されます。過去20回の出題傾向を徹底的に分析、効果的な学習が可能です。また、実技試験の過去問題が全て見られます。

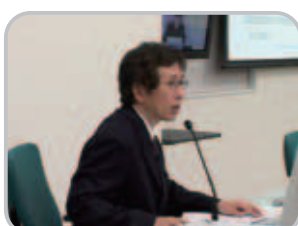


実技試験問題

福祉住環境コーディネーター2級受験講座

やさしい住環境を提案するアドバイザー

福祉住環境コーディネーターは、医療・福祉・建築に関する知識を身につけ、バリアフリー住宅への建て替えやリフォームのコーディネートを提供します。また、福祉用具や諸施策情報などについてもアドバイスするなど、現在幅広いニーズのある資格です。



秋山純和氏 (本学教授)

●医療福祉チャンネル774を見るには

「医療福祉チャンネル774」は衛星放送スカイパーフェクTV!の774チャンネルでご視聴いただけます。ご視聴には、スカイパーフェクTV!専用アンテナ&チューナーをお部屋のテレビにつなぐだけ!
○視聴料・・・月額2,100円 (このほかに、スカイパーフェクTV!加入料・・・2,940円(初回のみ)・スカイパーフェクTV!月額基本料・・・410円がかかります) 法人契約・・・5,250円
○IUHW学生、マロニエ会会員、教育後援会会員の皆様は、特別視聴の制度があります。下記までお問い合わせください。

●視聴に関するお問い合わせは

フリーダイヤル 0120-870-774 ((株)医療福祉総合研究所 お客さま係) Eメール info@iryoufukushi.com HP www.iryoufukushi.com/
・事務所・スタジオが移転しました。▶ 〒107-0062 東京都港区南青山1-3-3 青山1丁目タワー 4階

広報誌 IUHW 74号

発行：学校法人 国際医療福祉大学

〔大田原本校〕広報委員会
栃木県大田原市北金丸2600-1 ☎0287-24-3000

〔小田原キャンパス〕
神奈川県小田原市城山1-2-25 ☎0465-21-6500

〔大川キャンパス〕
福岡県大川市櫻津137-1 ☎0944-89-2000

〔東京事務所〕広報室
東京都港区南青山1-24-1 ☎03-5775-2505

デザイン：iDept. 写真：大田原本校 写真部ほか
編集：東京事務所広報室

©国際医療福祉大学 2008 Printed in Japan 禁無断転載・複写

お知らせ

IUHW Hot News

「看護学科 公開学習会」を開催します

テーマ：キャリアをデザインする ～自分の価値を高めよう～

日時：8月30日(土) 10:00～16:00
場所：国際医療福祉大学 O棟102教室

60名の定員を大幅にこえたため、申込みの受付は終了しました。お申込みいただいた皆様、お待ちしております。

●お問い合わせ
看護学科公開学習会担当：川野・伊沢
TEL/FAX：0287-24-3012
<http://www.uhw.ac.jp>

